

I 宮崎県特別支援教育研究連合組織

1

県特研連について

宮崎県特別支援教育研究連合
(略称: 県特研連)

2

小・中学校特別支援教育研究会
(略称: 小中特研)

+

特別支援学校教育研究会
(略称: 特支研)

3

県特研連とは

宮崎県の特別支援教育を推進するための研究団体

・規約 第二章 目的

特別支援学校と特別支援学級並びに通級指導教室（以下「特別支援学級等」という）を設置する小学校・中学校相互の連携を緊密にするとともに、特別支援教育に関する実践研究・調査及び特別支援教育の充実・振興を図ることを目的とする。

4

県特研連は2つの部会で構成されています

エリア部会

・地域の特別支援教育について研究を行う。

障がい種別教育研究部会

・障がい種別の教育研究を行う。

主な活動

- ① 各部会ごとの研修会等
- ② 研究大会（県全体 2年に1回）

5

県特研連大会 主題（2022年から10年間の大会主題）

新しい時代の生きる力をはぐくむ みやざきの特別支援教育

主題設定の理由

- ① 時代背景 → 新しい時代
- ② 特別支援教育の時代背景 → インクルーシブ教育システム
- ③ 学習指導要領（文部科学省）「生きる力 学びの、その先へ」
…目指すのは「社会に開かれた教育課程」の実現
- ④ みやざき特別支援教育推進プラン（宮崎県教育委員会・平成30年度）
具体的な施策
「子ども一人一人の学びのニーズに応じた質の高い教育支援システムの構築」

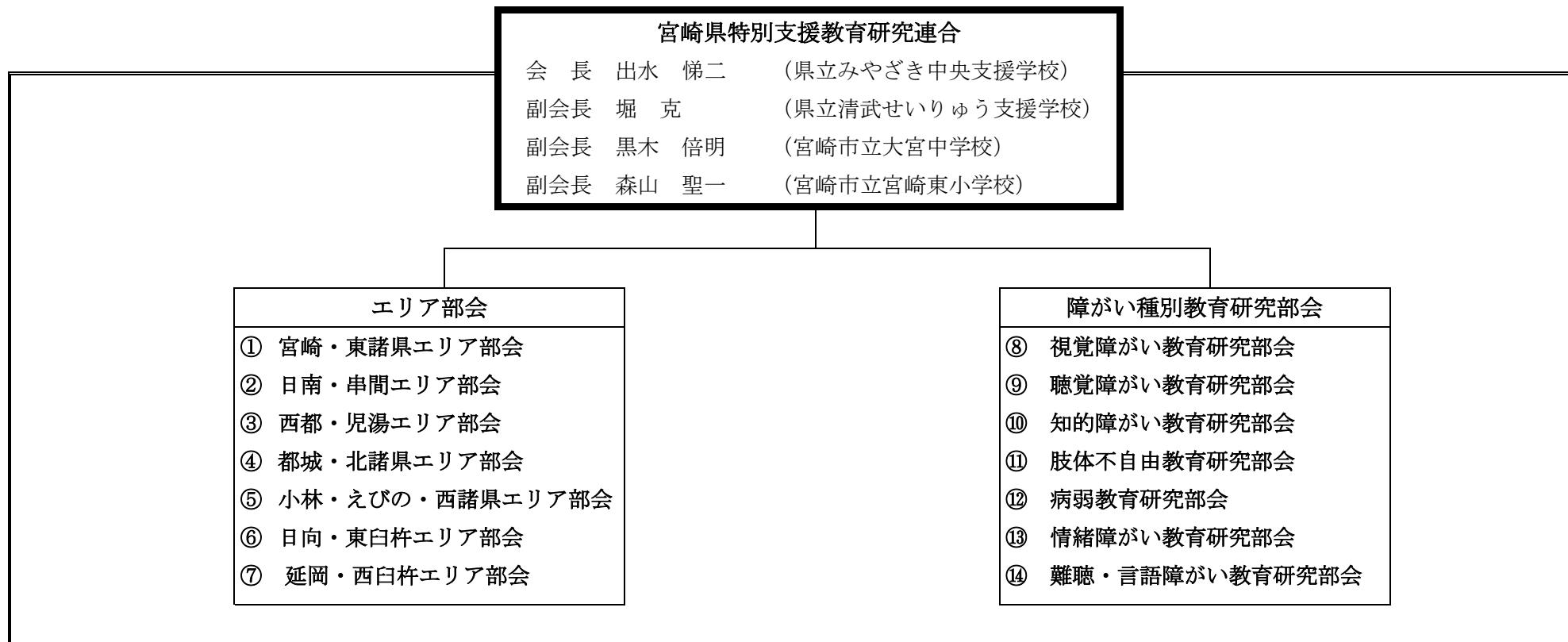
6

大会のローテーション

5年度	25回	25回大会準備期間
6年度	25回	北部（延岡しろやま支援学校）
7年度		26回大会準備期間
8年度	26回	南部（都城きりしま支援学校）
9年度		27回大会準備期間
10年度	27回	中部（日南くろしお支援学校）
11年度		28回大会準備期間
12年度	28回	北部（日向ひまわり支援学校）
13年度		29回大会準備期間
14年度	29回	南部（小林こすもす支援学校）

令和6年度 研究組織

(1) 組織の全体



* 組織について

本連合は、宮崎県小・中学校特別支援教育研究会（小・中特研）と宮崎県特別支援学校教育研究会の連合体である。連合体であることにより県教委公認の研究団体として認められ、研修出張や共催・後援等が可能になる。

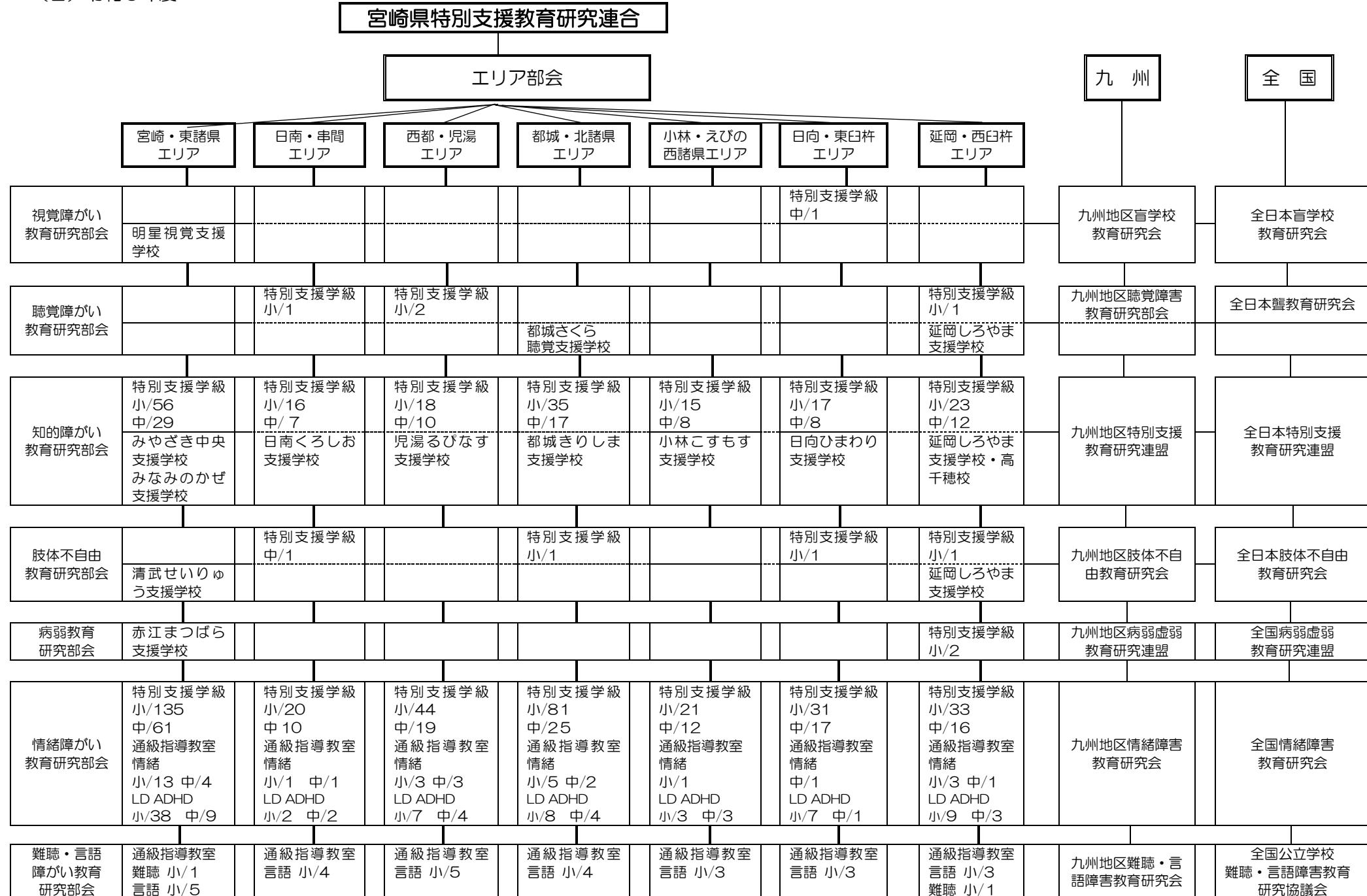
【参考】

ア 宮崎県小・中学校特別支援教育研究会

事務局：宮崎市立宮崎小学校、宮崎市立小戸小学校、三股町立三股中学校
各地区：①宮崎地区 ②東諸県地区 ③日南地区 ④串間地区 ⑤都北地区
⑥西諸県地区 ⑦西都地区 ⑧東児湯地区 ⑨日向地区 ⑩延岡地区
⑪西臼杵地区

イ 宮崎県特別支援学校教育研究会

事務局：清武せいりゅう支援学校
各部会：①教務主任部会 ②生徒指導主事部会 ③保健主事・養護教諭部会
④進路指導主事部会 ⑤栄養教諭・学校栄養職員部会 ⑥美術科代表者部会
⑦音楽科代表者部会 ⑧保健体育科代表者部会 ⑨家庭科代表者部会
⑩自立活動代表者部会 ⑪情報教育代表者部会



○関係機関（九州・全国等の組織）との連携を図る（障がい種別教育研究部会）

宮崎県特別支援教育研究連合 障がい種別教育研究部会	九州地区各障害種別研究会	全国各障害種別研究会
視覚障がい教育研究部会	九州地区盲学校教育研究会	全日本盲学校教育研究会
聴覚障がい教育研究部会	九州地区聴覚障害教育研究会	全日本聾教育研究会
知的障がい教育研究部会	九州地区特別支援教育研究連盟	全日本特別支援教育研究連盟
肢体不自由教育研究部会	九州地区肢体不自由教育研究会	全国肢体不自由教育研究会
病弱教育研究部会	九州地区病弱虚弱教育研究連盟	全国病弱虚弱教育研究連盟
情緒障がい教育研究部会	九州地区情緒障害教育研究会	全国情緒障害教育研究会
難聴・言語障がい教育研究部会	九州地区難聴・言語教育研究会	全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会

図2：障がい種別教育研究部会と関係機関との連携